

2018年3月期第2四半期 決算説明資料

2017年11月10日

田淵電機株式会社（証券コード：6624）

2018年3月期 第2四半期 業績の概要

- **（電源機器・エネルギーソリューション事業）**
国内太陽光発電市場は、FIT改正施行後の認定手続きの遅延が発生し、当社も設置遅れ案件が顕在化。北米市場展開については、徐々に設置が始まり、今後下期に向けて販売先の拡大に向けてあらゆる施策を実行。
- **（電源機器・電源デバイス事業）**
アミューズメント向けアダプタは第1四半期からフル生産で需要増に対応しており、増収に大きく貢献。
- **（変成器・電源デバイス事業）**
エアコン用リアクタは、日本・アセアンでの需要増があったが、中国ビジネスの停滞に伴い全体では横ばいで推移。

アミューズメント向けアダプタ増加も、パワーコンディショナの国内市場停滞と海外拡販の遅延に伴い売上微増にとどまる。
経費削減は計画通り進捗も、在庫評価損と減損を実施。

単位：百万円

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減
売上高	12,984	13,751	767
営業利益	▲1,096	▲2,171	▲1,074
経常利益	▲1,364	▲2,144	▲780
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲912	▲4,426	▲3,514

連結セグメント別業績概要

単位：百万円

	2017年3月期 2Q累計		2018年3月期 2Q累計		前年度比増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
電源機器	8,139	▲1,223	8,837	▲2,137	697	▲914
変成器	4,844	234	4,913	68	69	▲166
調整額	-	▲108	-	▲102	-	+6
連結計	12,984	▲1,096	13,751	▲2,171	767	▲1,074

電源機器事業

前年度比 +8.6%

- 国内太陽光発電市場の停滞と海外販売のスタートにて引き続き低調
- アミューズメント機器向けADPは生産能力最大まで供給能力を継続

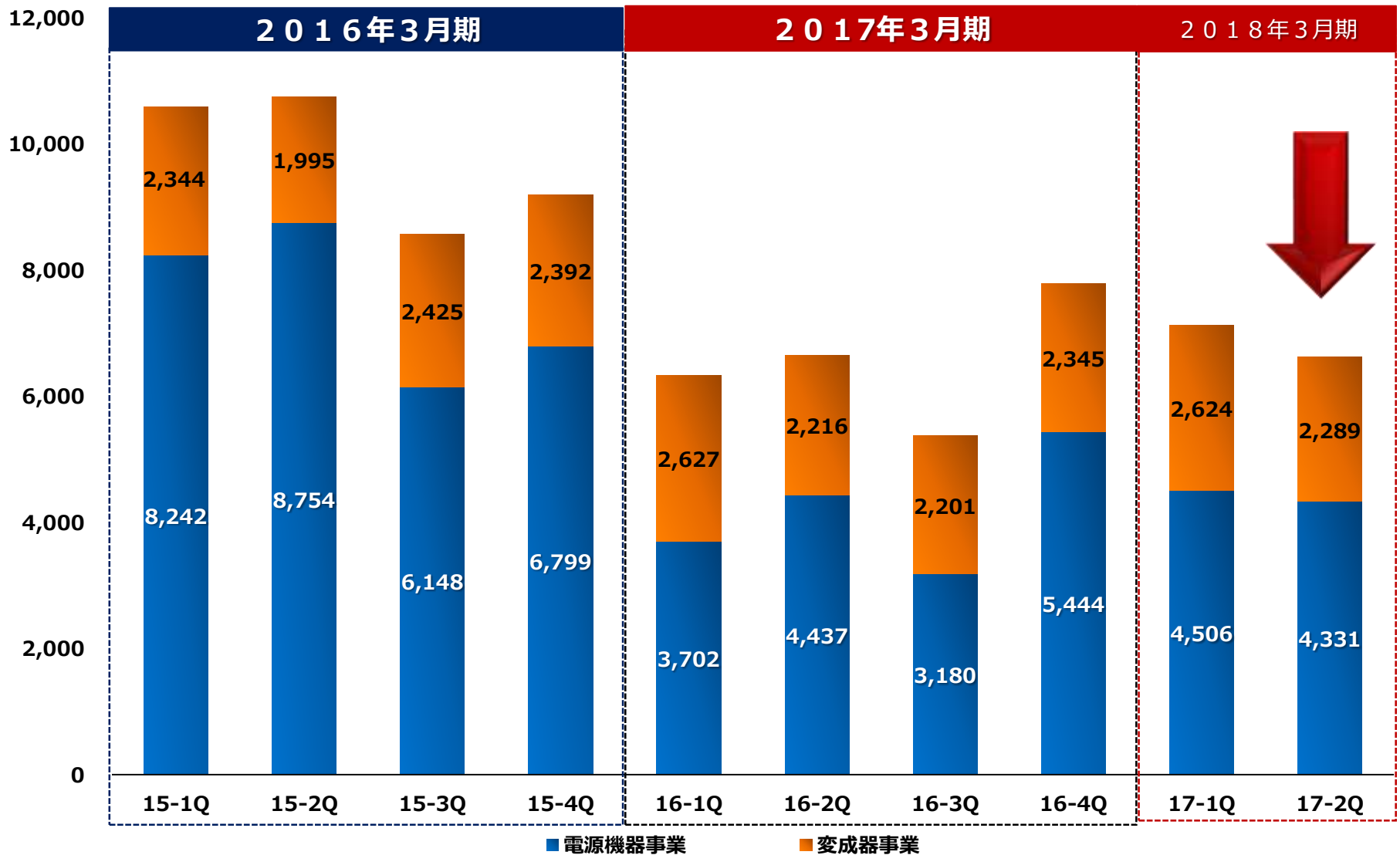
変成器事業

前年度比 +1.4%

- インバータエアコン用リアクタはアセアン中心に拡大
- 電源用スイッチングトランスもベトナムからアセアン各地への販売が増加し2桁増

連結セグメント別売上高四半期推移

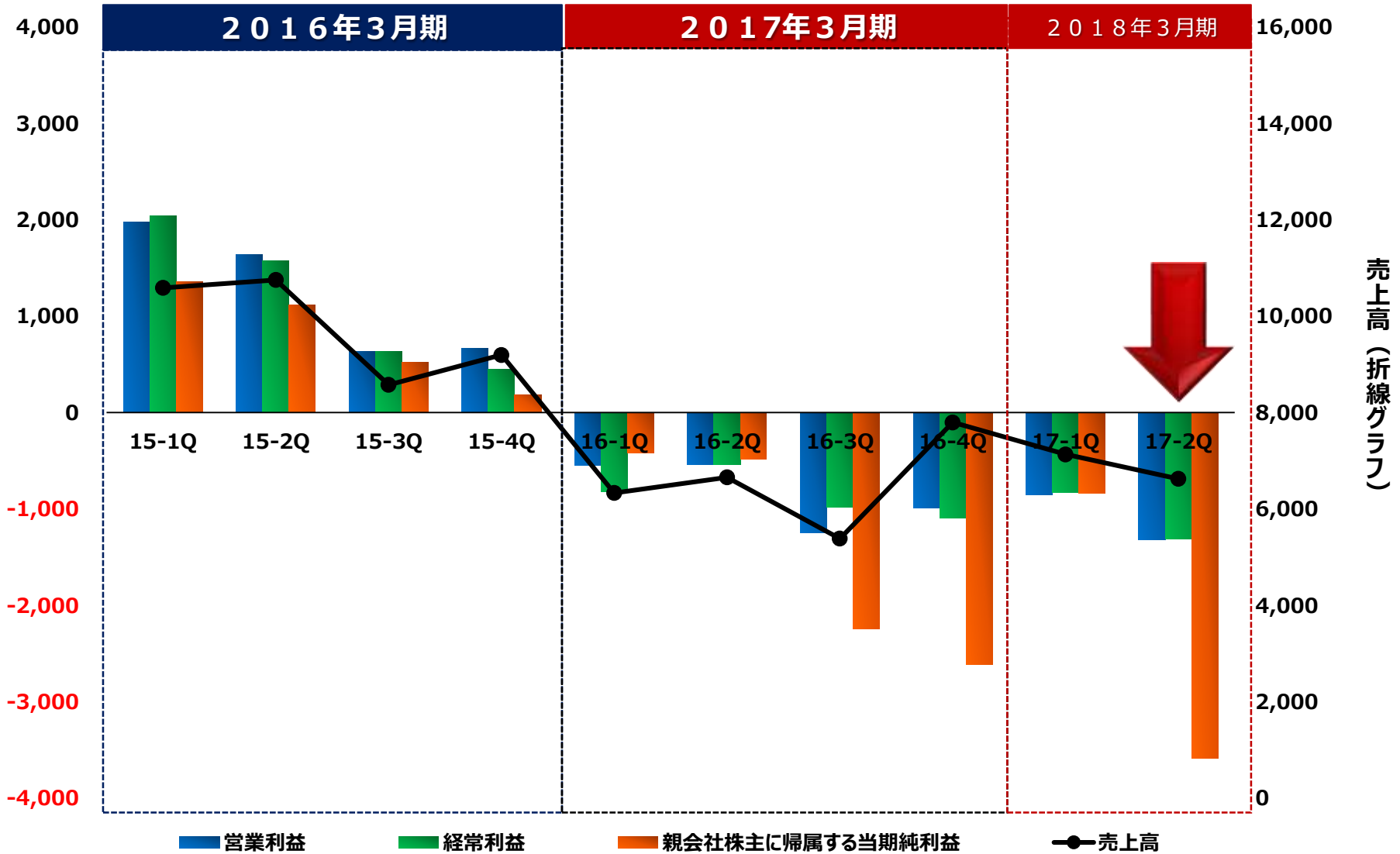
単位：百万円



連結業績四半期推移

単位：百万円

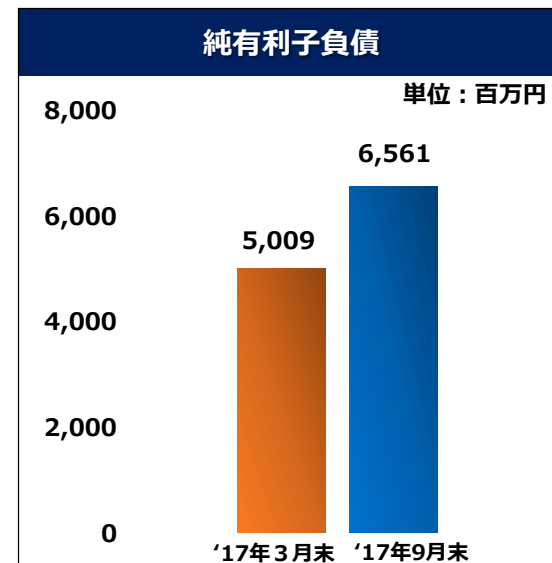
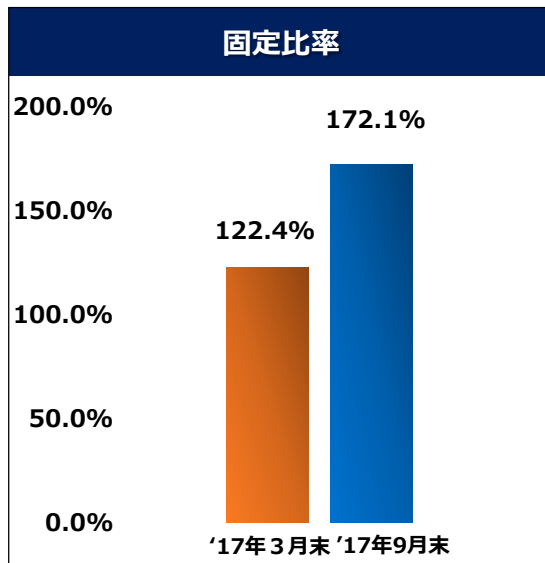
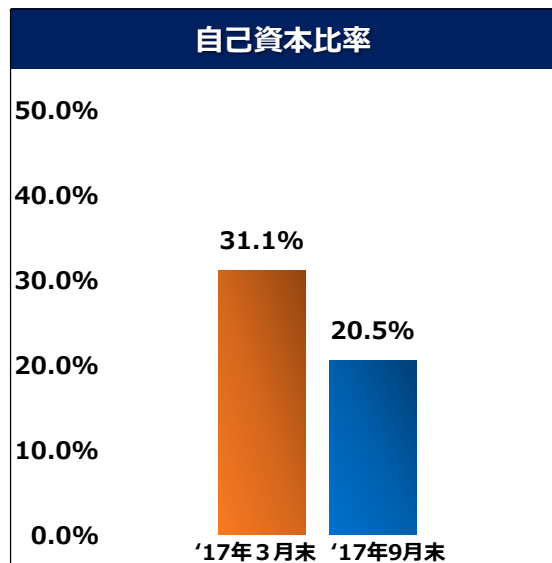
営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益（棒グラフ）



連結貸借対照表概要

単位：百万円

2017年3月末			2017年9月末		
2017年3月末			2017年9月末		
現預金	4,365	3,102	仕入債務	4,434	4,260
売上債権	5,268	4,651	短期有利子負債	7,065	7,513
棚卸資産	9,064	8,546	その他（流動）	3,177	2,995
その他（流動）	1,024	1,376	長期有利子負債	2,309	2,150
固定資産合計	12,121	9,633	その他（固定）	4,951	4,791
繰延資産	0	0	純資産	9,905	5,599
資産計	31,844	27,310	負債・純資産計	31,844	27,310



2018年3月期 業績の見込み

今期業績予想

単位：百万円

	2017年 3月期	上期	2018年3月期 下期	通期
売上高	26,156	13,751	14,549	28,300
営業利益	▲3,333	▲2,171	171	▲2,000
営業利益率	—	—	1.2%	—
経常利益	▲3,415	▲2,144	44	▲2,100
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲5,782	▲4,426	126	▲4,300
配当	年間計 8円	中間 0円	期末 0円	年間計 0円

注) 予想の前提となる為替レートは1ドル110円

上期業績のポイント

- ・ 売上高

- アミューズメント用電源はフル生産続き大幅な増収
- トランス事業は小型の電源用スイッチングトランス等堅調に推移
- 国内太陽光発電市場のFIT再認定の手続き遅れによる停滞と海外拡販遅れによりパワーコンディショナが減収

- ・ 営業利益

- パワーコンディショナ売上減少、販売価格の下落等による粗利益の減少に加え、パワーコンディショナの在庫評価減実施

- ・ 当期純利益

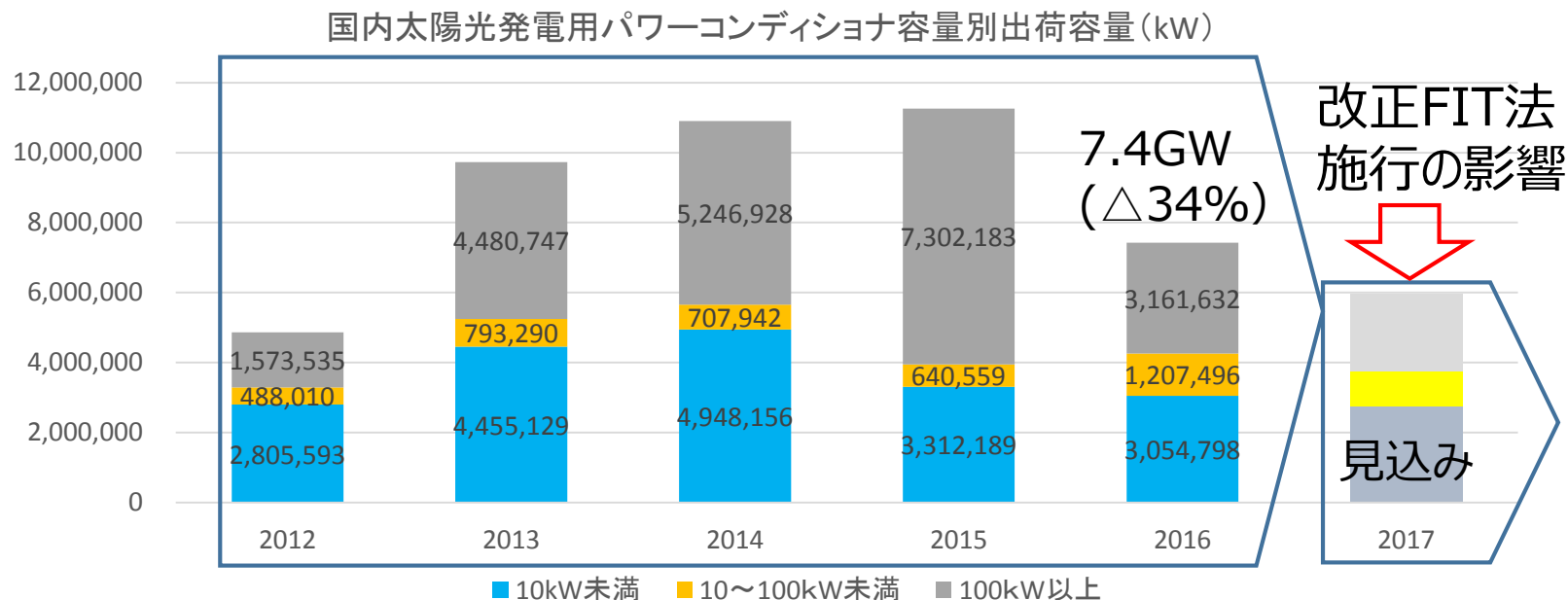
- パワーコンディショナを中心とするエネルギーソリューション事業の固定資産減損

下期業績予想のポイント

- ・ 売上高、営業利益
- アミューズメント用電源およびトランス事業は引き続き堅調に推移の見通し
- パワーコンディショナの国内市場ではFIT再認定手続きも進み、住宅用ハイブリッドシステム、産業用の低圧連系・中容量製品の浸透も進む見込であり、売上は底打ち
- 既定の固定費削減に加え追加の経費削減策の実施および車載用電源の受託開発を開始

2018年3月期 国内太陽光発電市場について

- 2016年度は前年から34%のダウン
2017年度も2割以上の縮小を見込む（5～6GW）
- 特に1～2QはFIT再認定の手続きが滞り、新規設置が大きく減退しており、回復は下期にずれ込む

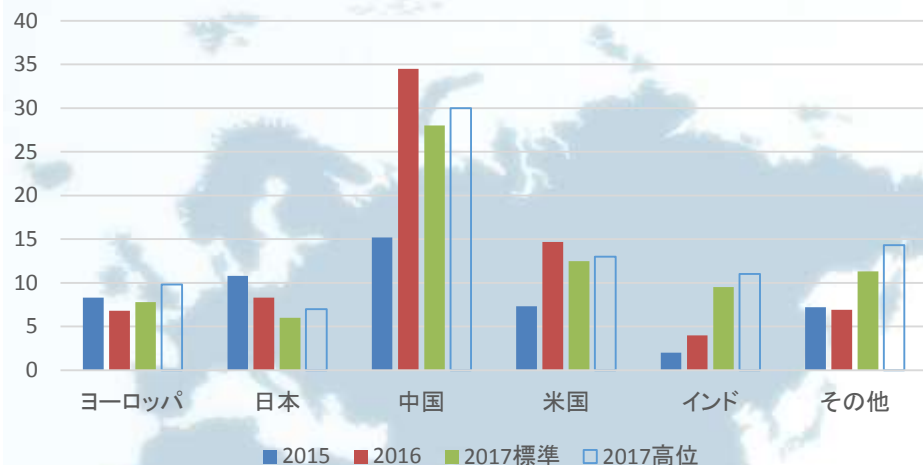


*改正FIT法（再生可能エネルギー固定価格買取制度） 2017年4月より改正法施行

出典：日本電機工業会（JEMA）統計資料

グローバル展開について

PV地域別市場規模 (GW)



出典：(株)資源総合システム



米国田淵電機 (サンノゼ)

- ・市場拡大傾向にある米国・インド・その他地域を中心に産業用・住宅用市場へ特長ある製品を投入
- ・太陽光と蓄電池のハイブリッドシステムの販売
ハワイ州、カリフォルニア州、カナダを重点拡販地域として捉え、現地の有力EPCと連携し取り組んでおり、下期に販売本格化
- ・国内では新たに蓄電容量4.0kWhの小型ハイブリッドシステムの販売を開始 (ハーフEIBS)

住宅用
蓄電ハイブリッド
システム
ハーフEIBS (壁掛け
コンパクトパワコンと
4.0kWh)



車載用電源事業分野での開発受託

TDK株式会社から電気自動車やハイブリッド自動車向け電源機器の開発業務の一部を受託

- 「DC-DCコンバータ」や「車載用充電器」などのEV電源製品について、当社の多年にわたる太陽光発電システムで培ったパワーエレクトロニクス技術とノウハウを生かす
- 車載用機器事業として、トランス、リアクタ等の大型受動部品に加え、パワーエレクトロニクス機器も取り込み、将来的な駆動モータ用インバータ開発も視野に活動する
- 車載用機器事業を、電源デバイス事業、エネルギーソリューション事業に続く、第三の新たな柱の事業へと構築していく

追加固定費削減策

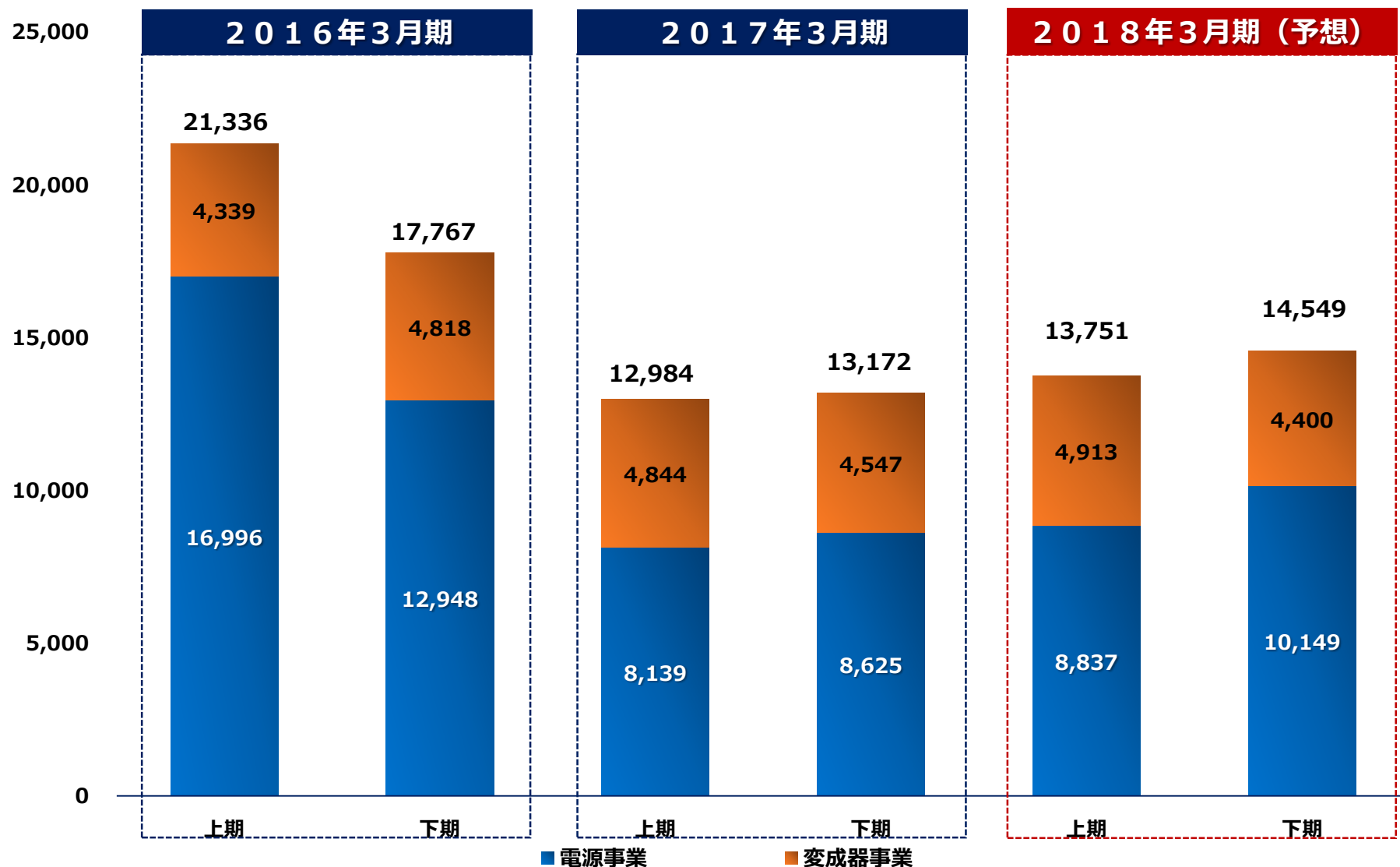
既定の固定費削減に加え、新たな経費削減策を実施する

- 国内拠点の管理・間接コストの適正化
- 海外販売拠点の適正化
タイ・バンコク事務所の閉鎖、北米の重点販売地域絞り込みによる固定費削減
- 生産の移管、集約の加速による原価低減
- 固定資産減損による償却費減

これら事業体制のスリム化とともに、技術開発体制のグローバル化(バンコク・ハノイ・上海の開発拠点活用)により、電源デバイス事業・エネルギーソリューション事業の一層の効率的推進体制を実現する

<予想> 連結セグメント別売上高推移

単位：百万円



TABUCHI ELECTRIC

当資料に記載されている、当社又はグループに関する見通し、方針、戦略等は、現時点での入手可能な情報に基づき、合理的と判断した前提のもと予測したものです。実際の業績は今後起こりうる様々な要因によって異なることがあるということをご理解ください。